

INVOICE

HP RELEASE

令和6年9月5日

e-dash 株式会社

芙蓉総合リース株式会社

株式会社インボイス

「e-dashとインボイス、CO2排出量の自動算出サービスで提携」

～企業の脱炭素化推進、請求書の集約・アップロード作業を大幅削減～



CO2排出量の可視化・削減サービスプラットフォーム「e-dash」を提供するe-dash株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：山崎冬馬、読み：イーダッシュ、以下「e-dash」）と、芙蓉総合リース株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）の連結子会社である株式会社インボイス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：加茂正巳、以下「インボイス」）は、企業の脱炭素化と業務効率化を支援するため、この度、業務提携契約を締結いたしました。

■ 本リースのサマリー

- e-dash の CO2 排出量可視化・削減サービスプラットフォーム「e-dash」と、インボイスの公共料金一括請求サービス「OneVoice 公共」のエネルギー使用量データを連携。
- これにより、従来「e-dash」利用時に必要だった請求書の収集・アップロード作業が不要となり、CO2 排出量の算出・可視化業務を効率化。
- 企業は CO2 排出量算定にかかる時間と労力を削減し、より精度の高いデータに基づいた脱炭素化計画の策定が可能になる。
- 両社は今後も機能開発や連携を強化し、企業の脱炭素化を支援していく。

■ 本提携の経緯

2050年のカーボンニュートラル達成に向けた動きが本格化する中、企業にとって CO2 排出量の情報開示や削減など脱炭素化の推進が経営上の重要なテーマのひとつとなっています。その第一歩として重要なのが、CO2 排出量の算出と可視化です。しかし、多くの企業が表計算ツールや専用サービス等を用いて作業を行う中、手入力による手間や入力ミス、さらには定期的に更新される排出係数への対応などにより、集計業務を担うご担当者からは「負担が大きすぎる」

INVOICE

HP RELEASE

「データの正確性に不安がある」という課題の声が多く聞かれます。

このような課題を解消すべく、e-dash は、事業活動による CO2 排出量（Scope 1・2）においては電気やガス等のエネルギー関連の請求書をアップロードするだけで自動算出・可視化するクラウドサービス「e-dash」を提供してきました。

芙蓉リースは、これまで BPO 分野へ積極的に取り組み、2018 年にインボイスをグループ会社化いたしました。また、中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」では「BPO/ICT」を成長ドライバーに位置づけ、非財務目標のひとつである「お客様の業務量削減時間+100 万時間（2021 年対比）」の達成を目指しております。

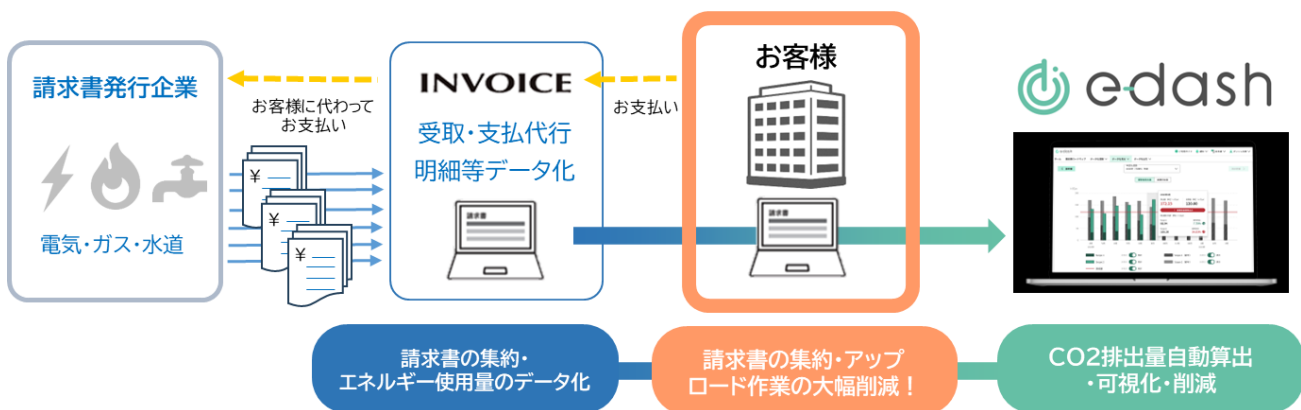
インボイスは、経理部門の BPO サービスとして、拠点ごとにバラバラと届く請求書を、企業に代わり受領・立替・請求の一本化を「OneVoice 公共」として提供し、専用ポータルにてエネルギー使用量データを拠点毎、明細毎に還元しています。

この度、e-dash とインボイスは、両社のサービスを連携し、より多くの企業の脱炭素化を支援するため、業務提携に至りました。

■ 本提携で目指すこと – CO2排出量の算出・可視化をよりスムーズに –

これまで「e-dash」をご利用いただく際に必要であった請求書の集約・アップロード作業が、「OneVoice公共」で提供する拠点毎、明細毎のエネルギー使用量データを連携させることで不要となり、CO2排出量の算出・可視化をよりスムーズに行えるようになります。

（※本サービスのご利用には「e-dash」および「OneVoice公共」の契約が必要となります）



e-dash およびインボイスは、今後もお客様により効率的に脱炭素化への取り組みを前進していただけるよう、機能開発や連携を強化してまいります。

INVOICE

HP RELEASE

■ 「e-dash」とは

「e-dash」は、CO2 排出量削減への取り組みを総合的にサポートする三井物産発のサービスプラットフォームです（※1）。

脱炭素の第一歩である CO2 排出量の可視化については、電気やガス等のエネルギー請求書をアップロードするだけで、事業を通じた CO2 排出量（Scope1・2）を自動で簡単に算出するなど、計算の手間を削減しながら正確なデータを蓄積する仕組みを提供しています。サプライチェーン排出量（Scope3）についても、ソフトウェア上で手軽に算出・可視化が可能です。

「e-dash」での CO2 排出量の算定については、大手監査法人による第三者検証を実施し、日本政府が策定した算定ガイドラインに基づいた正確な算定方法でご提供しています（※2）。さらに、CO2 排出量の可視化に留まらず、三井物産のネットワークも活用しながら、CO2 排出量削減の各種施策の実行を支援します。



※1：三井物産、CO2 排出量可視化・削減クラウドサービスを提供する「e-dash 株式会社」を設立（2022 年 3 月 1 日）

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000095916.html>

※2：国内初、大手監査法人による CO2 排出量可視化サービスの第三者検証を実施（2022 年 6 月 30 日）

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000012.000095916.html>

INVOICE

HP RELEASE

■ 「OneVoice 公共」とは

拠点毎にバラバラと届く公共料金の請求書を、企業に代わり受領・立替・請求の一本化により、経理部門の BPO サービスとして提供し、業務効率化（時間削減）、ペーパーレス化（電子化・DX 化）等、企業の課題解決を支援しています。

また、インボイス制度に対応した「立替金精算書」の発行や、電子帳簿保存法に対応したタイムスタンプの付与機能など法令にも対応しています。

「OneVoice 公共」は、バラバラの請求書や納付書をまとめ、拠点毎の各種使用量をデータ還元するので、データの集約・把握が正確且つ楽になります。

※1：「OneVoice 公共」サービスサイト

<https://onevoice.invoice.ne.jp/>

■ e-dash 会社概要

設立：2022 年 2 月 7 日

株主：三井物産、みずほイノベーション・フロンティア株式会社（みずほフィナンシャルグループの 100%子会社）

所在地：〒107-0052 東京都港区赤坂 4-8-18 赤坂 JEBL6 階

コーポレートサイト：<https://corp.e-dash.io/>

事業内容：

▼CO2 排出量可視化・削減サービスプラットフォーム「e-dash」の開発・運営

<https://e-dash.io/>

▼カーボンのクレジットのマーケットプレイス「e-dash Carbon Offset」の開発・運営

<https://carbon-offset.e-dash.io/>

▼カーボンニュートラルを加速させるメディア「accel.」の運営

<https://accel.e-dash.io/>

▼国内企業における環境対策情報の検索サイト「accel.DB」の運営

<https://acceldb.e-dash.io/>

【お問い合わせ先】

e-dash 株式会社

セールス担当 hello@e-dash.io

メディア担当 media@e-dash.io

INVOICE

H P R E L E A S E

■ インボイス 概要

設立：1992年12月

株主：芙蓉総合リース株式会社

所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-1-1 住友不動産麹町ガーデンタワー

コーポレートサイト：<https://www.invoice.ne.jp/>

事業内容：

・経理部門向け BPO サービス

<https://www.invoice.ne.jp/service/accounting/>

・総務・情報システム向け BPO サービス

<https://www.invoice.ne.jp/service/system/>

【お問い合わせ先】

株式会社インボイス 事業企画部 大口・簗輪

03-5275-7241